

第1回スポーツファシリティーズ大賞決定

第1回スポーツファシリティーズ大賞については、5月23日（水）に行われたスポーツファシリティーズ大賞選考委員会において、下記の通り受賞者が決定しました。

表彰式は、平成30年6月14日（木）に岩手県盛岡市で開催される第79回全国体育施設研究協議大会において実施します。

◎ スポーツ庁長官賞【器具・機材部門】

セノー株式会社の「吊下式バスケット装置の耐震化ユニット・防振ユニット」

- ・ 上記の製品は、多くの体育館が地震等の災害時の避難場所になっている現状の中で、吊下式バスケット装置の落下等に対する不安の声を受け開発されたものであるが、落下防止、移動防止、変形を防止する強化対策、防振対策の他、揺れに伴い発生する音の減少等の効果もあり、既存の吊下式バスケット装置にも容易に取り付けられ、工期的にも費用的にも手ごろで、設置済ユーザーからの評価も高く、それらを総合的に評価した。

◎ 公益財団法人日本体育施設協会会長賞

【管理・運営部門】

① 公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団の「世田谷区立総合運動場」

- ・ 安全性、快適性向上に向けた取組やユニバーサルデザインへの取組が行われ、地域と連携した様々な活動も見受けられ、管理・運営コストの縮減や各種情報の公開や利用者からの評価が高いこと等を総合的に評価した。

② 特定非営利活動法人出雲スポーツ振興21の「島根県立浜山公園」

- ・ プールの監視に新たなシステムを導入する等、施設の安全性の取組や地域の諸団体と連携し地域のニーズを取り入れた活動が行われており、管理・運営コストの縮減や各種情報の公開や利用者からの評価が高いこと等を総合的に評価した。

【器具・機材部門】

（公財）日本バレーボール協会、（一社）日本スポーツ用品工業協会、（一財）製品安全協会、アルインコ（株）、（公財）日本体育施設協会施設用器具部会の「テンションゲージ」

- ・ バレーボールのネット張りの作業中に発生した事故を受け、バレーボールに関わる競技団体、製造業関係団体、当該製品の製作会社の5団体が協力し、事故防止に取り組んで製作したこと、バレーボールのネットの張力について、これまでは感覚で調整していたものを、統一した適正值を設定し、それを簡単に計測できるようにしたこと等を総合的に評価した。